

恋文

作詞

吉田

作曲

佐藤

勝旺

アズナヴール流しながら
この手紙を書いてます
秋祭りに買った指輪
小指に光ります

椅子の上には赤い千代紙
窓の向こう戻下がりの小雨
何を見てもあなた様を
思い出して候

熱いココアすすりながら
表書きを書きました
夢一の絵の少女真似て
矢絣(やがすり)を着て
います
床にはらはら芥子(けし)の花弁
窓を染める雨あがりの夕陽
朝に夕にあなた様を
お慕い申し候

拙(うたな)き文を読まれし後は
焼いて欲しく候